

# あ げ お

あなたにほんきをおくるまじ



上尾市

## 議会 だより

### 主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査から、討論	3～7ページ
提出議案とその結果	8ページ
市政に対する一般質問	9～15ページ
委員会活動、意見書	16ページ



### 市内の幼稚園で入園式

まだ肌寒い春の日、  
市内の幼稚園で入園式が行われました。  
新しい園服を着て式典に出席した新園児たち。  
初めてのことばかりで、みんな緊張しています。  
これからたくさん友達を作ってね。  
入園おめでとう！（4月10日撮影）



第171号  
平成27年(2015)  
5月号

発行/上尾市議会  
編集/議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話048-775-9467

Pick Up

## 平成27年3月定例会 審議された主な議案

3月定例会で審議した議案は、市長提出議案36件、議員提出議案6件、委員会提出議案1件の計43件で、38件を原案のとおり可決、5件を否決しました。

議案第6号 平成27年度上尾市一般会計予算

### 平成27年度上尾市一般会計予算

「子どもから高齢者まですべてにやさしい思いやり市政」の実現に向けて6分野に重点

#### 1 あげおの魅力を再発見・地域消費の喚起

⇒30%のプレミアム付商品券を総額10.4億円発行、シティセールスを推進、農商工観ポータルサイト運営を強化

#### 2 待機児童ゼロをめざし、子育て支援を強化

⇒(仮)原市保育所複合施設建設の本格化、子ども・子育て支援新制度に伴い補助金を大幅拡充、初の認定こども園と2カ所の民間認可保育所が開設

#### 3 もっと住みよいまちへ、安全・安心を確保

⇒地域集会所全107カ所を対象にAED(自動体外式除細動器)配備、上尾中学校校舎改築工事の本格化、文化センター耐震化に向けた設計、振り込め詐欺防止

#### 4 次代を担う子どもの育成、教育環境を充実

⇒大石北小学童保育所新築、特別支援学級を小学校全校設置、生活保護世帯等の生徒への学習支援、(仮)中央図書館整備に向けた設計

#### 5 障害者の自立を支援・介護予防事業を拡充

⇒生活サポート事業に多子軽減制度を導入、障害者就労施設の製品販売を支援、アッピー元気体操の会場を増設・補助制度創設

#### 6 市民の健康づくりをサポート

⇒新たにウォーキング教室を開催、骨粗しょう症検診の対象年齢を拡充、自転車レーンの整備、(仮)戸崎東部公園整備に向けた設計

### 平成27年度予算

会計名		予算額
一般会計		606億5000万円
特別会計	国民健康保険特別会計	273億3100万円
	公共下水道事業特別会計	51億3290万円
	介護保険特別会計	128億80万円
	後期高齢者医療特別会計	22億7600万円
企業計	水道事業会計	66億1900万円

議案第13号 上尾市自転車の安全な利用に関する条例の制定について

### 自転車利用に関する基本事項を定める条例の制定

交通安全の推進を図るため、自転車利用者等の責務と、自転車の安全な利用に関する施策の基本事項を制定



議案第20号 ふるさとあげお応援基金条例の制定について

### ふるさとあげお応援基金の設置

ふるさと寄附金を、寄附者の思いを実現するための事業の財源に充てるため基金を設置

議案第33号 工事請負契約の締結について

### 上尾中学校屋内運動場の改築工事

市内すべての小中学校の校舎、屋内運動場(体育館)の耐震化は、この改築工事により完了

※その他の議案名や議決結果については、8ページ「平成27年3月定例会提出議案とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案の審査および調査を行いました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

当初予算 スズメバチの巣を駆除する補助金を新設

〔メモ〕スズメバチの巣の駆除を業者に委託する場合、費用の2分の1を補助金として(50



軒下に作られたスズメバチの巣

00円を上限) 交付する予算を計上。

委員 過去のスズメバチによる被害状況について伺いたい。

答 年間300件程度のハチの苦情があったが、そのうち半分以上がスズメバチである。全ての被害状況を把握しているわけではないが、歩行中に刺されたり、通学路で危険な状況になったりしたケースがあった。

当初予算 教員の指導方法を工夫改善

〔メモ〕適正な教育課程の編成、実施および教育の指導方法を工夫、改善するため、各種教育研修会の開催や資料の購入を行う。

委員 改訂になった教科書の種類について伺いたい。

答 平成27年度は、教科書改訂により市内小学校で使用するすべての教科書が変わることになる。

委員 今回の改訂に合わせ、どのような機関から指示を受け、どこで採択したのか伺いたい。

答 教科書は、国や県の法令により、何年かごとに見直す形になっている。上尾市は、平成26年度から単独で教科書採択を行うことになっており、市内の子どもたち

が使用する教科書は市教育委員会が採択している。

健康福祉常任委員会

条例制定 市立保育所の保育に関する条例を制定

〔メモ〕子ども・子育て支援新制度が開始されることに伴い、市立保育所の保育に関し、利用者負担額として保育料を徴収する旨を規定する。

委員 標準時間と短時間の2つの認定区分が導入されるとのことであるが、認定の割合について伺いたい。

答 現在、在園し、来年度も継続して在園する子どもが、公立と私立を合わせて2014人いる。現時点での認定の割合は、標準時間認定が1739人で、全体の86.3%であり、短時間認定が275人で、全体の13.7%である。

委員 延長保育料が導入されるが、現時点で、延長保育料がかかる保育時間帯を利用している児童数について伺いたい。

答 延長保育の利用者数については、平成26年9月1日から1ヵ月間の利用状況を調査している。その時点での市立保育所在籍数が

1299人であり、朝の延長保育料がかかる時間帯の午前7時〜7時29分の利用者は、実人数で167人、利用率として12.9%であった。また、夕方の延長保育料がかかる時間帯の午後6時31分から7時までの利用者は、実人数で388人、利用率として29.9%であった。



市立保育所の様子

当初予算 通所型介護予防事業を充実・拡充

〔メモ〕2次予防の対象となる高齢者に対して、運動器の機能向上、認知機能の向上、閉じこもり予防の事業を実施するための予算を計上。

委員 通所型介護予防事業は、



元気アップ教室の様子

デザイナービズの事業と同様であるか伺いたい。

**答** 本事業は、要介護認定を受けていないが、今後、要介護になるリスクが高い人を抽出し、その人たちが要介護にならないようにする事業である。内容は、簡単な筋力アップのトレーニングや、カラオケ教室などである。

**委員** 事業のコースと参加人数について伺いたい。

**答** 本事業では、元気アップ教室を実施している。当該事業では、運動コースとパソコン水彩画コース、カラオケコースがある。また、平成 27 年度からは、新規に、吹き矢コースを実施する。運動コースは、室内運動とプールを活用し

た水中運動を実施しており、平成 25 年度は 187 人、平成 26 年度は、これまでに 173 人が参加している。

### 都市整備消防常任委員会

#### 当初予算 西宮下中妻線などの整備費を計上

〈メモ〉西宮下中妻線の市道 21408 号線交差点から県道川越上尾線までの区間延長 670 m の整備を行う。また仲町谷津線の整備に伴う事業用地を購入。

**委員** 市が「西宮下中妻線ニュース」を発行したことに市民から喜びの声が届いている。今後の住民説明会の進め方について伺いたい。

**答** 整備延長が 670 m あることから、全体説明会を行った後に、工区ごとの説明会を実施していきたい。

**委員** 都市計画決定されている仲町谷津線の整備計画について伺いたい。

**答** 仲町谷津線は、旧中山道から高崎線をくぐり、西宮下中妻線へ接続する計画路線である。西宮下中妻線が完成しないと交通の流れが確保できないため、西宮下中

妻線の整備を先行し、その後検討していきたいと考えている。



西宮下中妻線

### 総務常任委員会

#### 補正予算 定住人口増加を目指してシテイセールスを

〈メモ〉国の地方創生に関する交付金を活用し、上尾ブランドの確立と、将来の定住人口増加を目指すための事業費を計上。

**委員** シティプロモーションムービーの製作と、電車内の広告作成について、内容を伺いたい。

**答** シティプロモーションムービーは、「住みたくなる」というコンセプトで製作し、住宅展示場などで放映することを考えている。

また、電車内広告は、市民の意見を聴く場である「あげおえがおミートイニング」でキャッチフレーズを作成し、上尾市に住んでもらうためのメッセージを発信したい。なお、広告の掲載は湘南新宿ラインを含む高崎線、宇都宮線、東海道線の各車両に 1 枚ずつで、期間は、来年 2 月の 1 週間を予定している。

#### 条例制定 ふるさとあげお応援基金条例を制定

〈メモ〉寄附者の思いを実現するために、ふるさと寄附金の事業の財源に充てる基金を設置する。

**委員** 基金を作る必要性について伺いたい。

**答** 基金をつくることで、寄附がどの位寄せられ、どの事業に充てられたかが明確になる。

**委員** 目的を発信したほうが寄附が集まりやすいのではないかと。また、現状ではどのような事業に使われるのか分からないので、寄附が集まりにくいと思うが、今後の考えを伺いたい。

**答** 7、8 項目程度のメニューを示し、その目的にすぐ使うというのが原則である。また、長期的な事業に対して募集することも考えている。寄附の用途については、

お礼品の選定と合わせて具体的な内容を検討していきたい。

**市長提出議案に  
対する賛成討論**

**要旨**

**平成27年度上尾市一般会計予算**について、30%のプレミアム付商品券の発行は、地域消費の喚起と、地域経済の活性化ができるものと期待する。また、農商工観ポータルサイトの充実と、ふるさと納税制度のさらなる推進は、市の魅力を発信できるものと考ええる。

民間認可保育所などへの市独自の負担金の拡充と運営費補助の新設については、子育て支援を強化しているものとなっている。

上尾中学校校舎改築事業の終了による市内全ての小・中学校施設の耐震化は、子どもたちの安心安全を確保している。

小学校の特別支援学級を整備し、平成28年4月から全校で特別支援学級での授業が可能となるほか、一学校区一学童達成に向けての推進や市独自の生活保護世帯等の生徒への学習支援の実施は、子どもたちの未来を守る積極的な施策である。

障害児者生活サポート事業の多子軽減制度の導入と、障害者授

産施設への支援強化などは、市民の要望に応えた施策となっている。

介護予防メニューの拡充や、アツピー元気体操のさらなる充実、生活習慣病重症化予防事業の導入などは、健康寿命に力点を置いた施策となっている。

これらの重点事業は「子どもから高齢者まですべてにやさしい思いやり市政」の実現に向け、高く評価するものであり、この予算に賛成する。

**市長提出議案に  
対する反対討論**

**要旨**

**平成26年度上尾市一般会計補正予算**について、上尾市地域創生総合戦略策定事業は、国の負担で行われるが、これを市が委託料で実施すると、その地域のひな形はできるが、本当に地域の必要性をくんだものはできないという意見が大半である。上尾市の発展を考えると非常に残念であり、反対する。

国民健康保険特別会計繰出金事業分2392万3000円は減額補正せずに基金に積み、国民健康保険税の引き下げなどに使うべきと考え反対する。

**平成26年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算**について、一般

会計繰入金8021万5000円の減額補正は、法定外繰入金を減額せず基金に積み、来年度からの国保税の引き下げや減免制度の充実に使うべきと考え反対する。

**平成26年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算**は、昨年10月からの値上げや、受益者負担金の一括納付が予算よりも大幅に減っており、市民の暮らしの厳しさを反映している。公共下水道管理基金をさらに積み、健全な管理を行う必要があると考え反対する。

**平成27年度上尾市一般会計予算**について、軽自動車の増税を見込んだ予算で、大企業には減税、市民には増税の予算であることから、反対する。

自衛官募集事務委託金について、国が自治体に自衛官募集事務を押し付け、子どもや、若者の個人情報を提供するなど、問題があるので、反対である。

社会保障・税番号制度システムについて、膨大な個人情報を一手に握り、社会保障費の抑制と削減、プライバシー保護など、大きな問題を抱えている。同制度に関連する他の予算についても反対する。

同和関連予算について、同和対策事業特別措置法は、2002年

に失効しているが、市はいまだいくつもの事業で同和関連の予算が残る。ことさら同和だけにこれ程の予算措置をしているので一括して反対する。

上尾市・本宮市友好交流事業について、本宮市と上尾市のゆるキヤラ同志が結婚したので今度は子どもを産む、というのは、あまりに安易である。不妊症や不育症患者に対しても配慮のないもので、違う形で友好交流事業はできると考え反対する。

国民保護計画推進事業のJアラート保守委託料について、国民総動員の架空の武力計画で国民保護の名のもとで国が必要とする情報を一方的に流すものである。防災無線や防災メールなどで情報提供

**★市議会情報は  
ホームページで**

市議会情報をホームページでご覧いただけます。議会日程や議案の審議内容や一般質問の内容など詳しくお知りになりたい人は、市議会ホームページ (<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>) をご覧ください。

⇒議会事務局 (TEL 775-9467)

することは可能であり、有事に備えるのが当たり前の雰囲気をつくり、利用される危険があることから反対する。

重度心身障害者医療費支給事業と難病者見舞金支給事業について、県は、新規で障害のある65歳以上の人を医療費支給事業の対象から外すことを決め、これにより約300人が対象とならなくなつた。また、難病者見舞金が年額2万円から1万円に削減されることから反対する。

(仮) 原市保育所複合施設整備事業について、原市団地保育所をなくし、定員も減るとのことであるが、待機児童解消に逆行するものであり、反対する。

生活保護世帯扶助事業について、前年度と比較し9・8%減の予算となっており、健康で文化的な最低限度の生活を低めていくものであり、認められないので、反対する。

仲町谷津線整備事業（土地開発公社健全化）について、土地開発公社が土地を購入した後、市が2、3年で買い戻さなかつたため損失が非常に大きい。土地開発公社を解散させるためや、新しい事業を行うために、この用地買収が

必要であるなら仕方ない。しかし、解散などが決まっていけない時点で、用地買収することは市民にたくさんの負担をかけることになるのでこの予算に反対する。

学力向上支援事業について、本来テストは子どもたち一人一人の学力の達成度を図り、教員の指導方法を振り返り改善するためのものである。一斉学力テストは、学力向上とは相入れなく、毎年全学年対象に行く必要はない。子どもたちの学力向上を保障し、いじめや不登校の解決に大きな役割を果たす少人数学級など教育条件整備こそ重要であると考え、反対する。

(仮) 中央図書館整備事業は、市民の利便性が大きく後退する上平公園の隣に移転することが前提で、上平に候補地が決定した経過も市民に納得のいく説明がなく進められてきた。パブリックコメントでも、上平への移転決定後に意見を聞くことは、本当に市民の意見を聞く気があるのか、利用者の利便性を考えていないなどの多数の意見があり、さらに市民団体からも移転反対の要請書が提出されるなど、市民を無視した計画である。事業費の全体規模も将来負担も議会に説明されず基本設計を進

## 議員研修会を開催

2月9日、東京大学大学院の金井利之教授を講師に迎え「議員定数のあり方について」と題して、講演をいただきました。

市議会活動に必要な議員定数を考える上で、大変参考になる内容でした。



議員研修会の様子

めることは議会軽視であり、2倍の利用者を見込む根拠も不明確で、公共施設維持管理計画の方針とも整合性がないことから、反対する。

なぜ、中央図書館が上平にあるのか。遠く離れた図書館に、お金を払い公共交通機関を使って多くの人が集まるとは思えない。多くの市民が平等に使えるように、町を中心につくるべきである。上平を前提としたこの予算に反対する。

平成27年度上尾市国民健康保険特別会計予算について、市では国保税の引き下げについて検討しておらず、一般会計からの繰り入れも前年に比べ減額している。福祉増進の立場から、国民健康保険税を引き下げていくことが求められていると考え、反対する。

平成27年度上尾市公共下水道事業特別会計予算について、公営企業会計への準備費用である資産台帳整備事業が計上されているが、企業会計に移行すれば、独立採算が原則となり、企業性が重視され、費用負担のほとんどを下水道使用料として市民から徴収することにつながる。下水道使用料の値上げが本稼働し、さらなる負担増につながるが、かねないので反対する。

平成27年度上尾市介護保険特別会計予算、上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、条例は、第6期の介護保険料を定めるものであるが、今回の保険料改正により、第9、第10段階の人が負担増となることから反対する。

要支援1、要支援2が介護保険から外れるが、介護保険事業は、どのように社会で支えていくかということを真剣に考えるべきであるので、反対する。

**平成27年度上尾市水道事業会計** 予算について、口径25ミリメートル以上の基本料金が据置期間を経て改定後の基本料金になるが、福祉作業所などの施設への減免措置がとられない。また大口径、大量使用者の料金の大幅な軽減は、市にとってもマイナスにつながる。純利益や現金預金が見込まれ、市民への水道料金の引き下げは十分できると考えるので反対する。

年金や賃金の下がり、物価が上がる中、市民の生活が困窮している。水道事業会計では、いろいろな経費が引かれても、残金があるので、水道料金を上げる必要はないと思うことから、反対する。

**上尾市職員の給与に関する条例** 等の一部を改正する条例の制定について、市の職員は、地域で多くの買い物をし、地域経済に貢献する大きな塊である。消費を増やすということは経済の要であり、市の消費の中心である市の職員の給料は削るべきでないと考えるので、反対する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、上尾市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定については、首長の教育行政への政治関与を強め、首長が交代するたびに教育目標や施策が変わる可能性がある。政治的中立性の確保が困難となる懸念されることから、反対する。

**上尾市立保育所条例の制定** について、保育を受けられる時間を2つの区分に分けることは、保育現場の事務量を増やし混乱をもたらす。また、延長保育料の徴収は、4割を超える保護者に負担が課せられるので反対する。

**上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例の制定** について、ごみ減量の成果が得られている中、今の時点で値上げをすることは、市民や事業者の負担が重くなるばかりであり、ポイ捨て、不法投棄も心配である。安易な値上げは賛成できない。

**議員提出議案に対する反対討論**

**要旨**

都市農業の振興策強化等を求め

る意見書について、相続税納税猶予制度の適用を受けた生産緑地を、一般農地と同様に貸借を可能にし、貸しやすく借りやすい生産緑地にすることは、現実事例として見当たらぬ。また、生産緑地として固定資産税が優遇され、相続税の納税猶予を受けているのに、利益を上げるとは、現実的でないことから、反対する。

**委員会提出議案に対する反対討論**

**要旨**

**上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定** については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」に伴う条例改正であり、同条例に反対があるので整合性を図る上で、反対する。

**議場に国旗・市旗を掲揚**

12月定例会で「上尾市議会議場に国旗市旗を掲揚することについての請願」が採択されたことを受け、議場に国旗と市旗を掲揚しました。

**3月定例会の動き**

2月25日	本会議	開会、議案の上程、提出議案の説明
3月3日	本会議	提出議案に対する質疑、委員会付託
3月4日	委員会	総務・都市整備消防常任委員会
3月5日	委員会	総務常任委員会
3月6日	委員会	文教経済・健康福祉常任委員会
3月9日	委員会	健康福祉常任委員会
3月11日・12日・16日・17日	本会議	一般質問
3月20日	本会議	委員長報告、討論、採決、議員提出議案・委員会提出議案の上程、討論、採決、閉会

平成 27 年 3 月定例会提出議案とその結果

市長提出議案(36件)

- 議案第 1 号 平成26年度上尾市一般会計補正予算(第5号)
- 議案第 2 号 平成26年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第 3 号 平成26年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 議案第 4 号 平成26年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第 5 号 平成26年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 議案第 6 号 平成27年度上尾市一般会計予算
- 議案第 7 号 平成27年度上尾市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 8 号 平成27年度上尾市公共下水道事業特別会計予算
- 議案第 9 号 平成27年度上尾市介護保険特別会計予算
- 議案第10号 平成27年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第11号 平成27年度上尾市水道事業会計予算
- 議案第12号 上尾市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第13号 上尾市自転車の安全な利用に関する条例の制定について
- 議案第14号 上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第15号 上尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 上尾市建築基準法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 上尾市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 上尾市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 ふるさとあげお応援基金条例の制定について
- 議案第21号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第22号 上尾市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について
- 議案第23号 上尾市立幼稚園の利用者負担額に関する条例の制定について
- 議案第24号 上尾市立保育所条例の制定について

- 議案第25号 上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第28号 上尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 上尾市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第30号 上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第31号 上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第32号 上尾市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第33号 工事請負契約の締結について
- 議案第34号 財産の取得について
- 議案第35号 町の区域を新たに画し、及び変更することについて
- 議案第36号 市道路線の認定について

議員提出議案(6件)

- 議第 1号議案 都市農業の振興策強化等を求める意見書
- 議第 2号議案 少人数学級推進を求める意見書
- 議第 3号議案 介護報酬の引き下げに反対する意見書
- 議第 4号議案 自衛隊による海外派兵を拡大しないことを求める意見書
- 議第 5号議案 沖縄辺野古新基地建設工事の即時中止と移設の断念を求める意見書
- 議第 6号議案 長時間労働に拍車をかける「日本型新裁量労働制」を導入しないことを求める意見書

委員会提出議案(1件)

- 委第 1号議案 上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

◎本議会において賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	新政クラブ										公明党					上尾政策フォーラム				共産党		無党派						
		小川明仁	星野良行	大室尚	箕輪登	新井金作	渡辺綱一	嶋田一孝	小林守利	野本順一	田中元三郎	矢部勝巳	岡田武雄	田中守	前島るり	長沢純	道下文男	橋北富雄	伊藤美佐子	浦和三郎	町田皇介	鈴木茂	池野耕司	井上茂	平田通子	秋山もえ	糟谷珠紀	深山孝	秋山かほる
議案第 1 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 1号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第 2号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第 3号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第 4号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第 5号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第 6号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
委第 1号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。  
 ※ ○=賛成 ×=反対 退席=□ ※ 議長は採決に加わりません。



市政に対する  
一般質問

ここが問題  
そこが  
聞きたい  
Q&A

3月定例会の一般質問は、3月11・12・16・17日の4日間行われ、18人の議員が、市政全般42項目にわたって市当局の見解を求めました。  
また、4日間で202人の皆さんが議会を傍聴しました。  
一般質問の主な内容は次のとおりです(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)。

◆政策



新政クラブ  
田中 元三郎

(仮)戸崎東部地区公園の  
整備予定と施設は

**問** 地元の住民がとても待ち望んだ(仮)戸崎東部地区公園の建設が着手される。平成27年度は、実施設設計を行うとのことであるが、今後の予定について伺いたい。また、公園の設計内容や付随する施設についてはどのように考えているか伺いたい。

**答** 平成26年度中に、地権者に対し基本設計内容と事業年限について説明会を行い、平成27年度は、鴨川の河川保全区域や雨水流出抑制について、関係機関と協議を行いながら、実施設計を行う。平成28

年度には、事業に着手できるように取り組んでいきたい。また、施設は、パークゴルフ施設を主要とした駐車場、管理棟、遊具やあずまやが配置された子ども広場、ジョギングや散歩を楽しむ園路、雨水流出抑制のための調整池などを備えた全面積約6ヘクタールの地区公園として計画している。

その他の質問

・上尾市の継続可能な発展について  
・サイクルタウンについて



上尾政策フォーラム  
池野 耕司

健康寿命都市宣言を

**問** 市の高齢化率は、平成26年10月時点で、24・3パーセントであり、30%を超えるまでに、それほど時間を要しない。それに伴い医

療費、介護費が膨れ上がることが予想される。そこで、予防医学を積極的に推進し、健康寿命の延伸を可能にすることは行政の施策として重要であり、健康長寿社会の実現への支度は大きなテーマであると実感している。市の未来を考えると健康寿命都市宣言をすることは、ふさわしいと考えるが、市の見解を伺いたい。

**答** 健康寿命を延ばし、健康に生活していくことは市民の願いであり、市にとっても重要なことだと認識している。健康寿命の延伸は、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の健康維持、増進活動により実現できるものと考えている。スポーツや運動、食事などの予防事



健康ライフ応援事業

業、地域医療体制の整備など健康を軸として、既存の事業の連携と拡充を図る必要がある。今後、健康寿命に主眼を置いた都市宣言について調査、研究していきたい。

その他の質問

・医療費削減への取組みについて



日本共産党  
上尾市議会議員団  
糟谷 珠紀

自衛隊への未成年者の個人情報提供問題は

**問** 市が自衛隊に適齢者名簿を提供していたことについて、昨年9月議会で取り上げたところ、15、16歳の男子、2276人分の情報を市が自衛隊に紙媒体で提供していたことが分かった。その後、自衛隊法改正により、この情報提供は違法だったことが明らかになったが、その経緯と平成27年度以降の対応について伺いたい。

**答** 自衛隊への名簿提出については、平成26年11月27日に、自衛隊埼玉地方協力本部の募集課長と自衛官が来庁し、本市に対しこれまでの経緯説明と謝罪があった。市は、二度と同じような誤りを繰り返さないよう、今後の事務執行に

当たり、法的根拠を明確にするとともに、個人情報保護の観点から適切かつ慎重に事務を進めるよう強く抗議と要請を行った。平成 27 年度以降は、従来のように紙媒体で渡す方法ではなく、閲覧による情報提供に切り替えることを検討し、7 月上旬には結論を出したい。

〈その他の質問〉

・シティセールスという言葉の意味について  
 ・住宅リフォーム助成制度の創設を



無会派  
秋山 かほる

上尾駅と周辺整備に係る借り入れは

**問** JR 上尾駅は市民の多くの税金を使って改修した。駅の自由通路（ペDESTリアンデッキ）、駅舎改修および周辺整備に關つた資金の借入状況と、補助金の額と種類について伺いたい。また、借入金全体の返済計画と、市財政への影響について伺いたい。

**答** 駅舎改修事業、ペDESTリアンデッキ拡張事業および西口広場整備事業の財源内訳は、国庫補助金が 12 億 1000 万円、県補助金が 8000 万円、市債（借入金）



拡張したJR上尾駅の自由通路

が 18 億 3000 万円、一般財源が 15 億 6000 万円であり、これらの事業に係る市債は平成 37 年度に返済終了予定である。市債は公共建設事業を実施するための重要な財源であり、財政の年度間調整や住民負担の世代間公平を図る上でも有効な手段である。将来負担が大きくなるよう借り入れと返済のバランスを考慮した財政運営を行ってきており平成 26 年度末の全会計の市債残高見込みは、ピーク時の平成 15 年度末と比較して約 125 億円圧縮している。借入期間や据置期間などを調整し、単年度の公債費が過大にならないように努めていきたい。



無会派  
深山 孝

誰もが来たくなくなる図書館を目指して

**問** 図書館の在り方に関する報告書に「図書館は、住民の身近にあり、図書やその他の資料を収集、整理、保存し、その提供を通じて住民の学習を支援する役割がある。さらに近年は地域が抱える課題の解決を支援するための図書館サービスを行うことが求められている」とある。市は、社会の変化や住民ニーズに対応して図書館を改革していくことが必要であると考える。独自のポリシーのもと、図書館づくりを行い、誰もが来たくなる図書館を目指すべきであると考えますが、市の見解を伺いたい。

**答** 市では、新図書館のコンセプトとして「誰もが集える安全で居心地のよい空間」「調査研究・情報提供機能の拠点」「図書館システムの中心」を掲げ、図書館の機能充実を図っていきたくと考えている。また、利用者のテーマに沿った情報提供や学びの支援を行い、時代の変化に対応できるような情報化やデジタル化を進めながら、地

全員協議会を開催

3 月 20 日、西貝塚環境センター運転管理業務委託について、全員協議会が開催されました。会議では、「条件付一般競争入札について」「業務委託契約が解除された理由と経緯について」「新年度の運営に

ついて」執行部から説明がありました。また議員からは、「今後の防止策」「予定価格」「安全運転の確保」などについて、質疑がありました。※平成 27 年度からの西貝塚環境センターの運転管理業務委託については、指名競争入札を経て、随意契約を締結し、安全に運転・管理を行っています。

〈その他の質問〉

域に密着した図書館を目指したい。現在、図書館を利用していない人も、新図書館に行ってみたくと思える図書館を目指したい。  
 ・行財政改革について



上尾政策フォーラム  
井上 茂

新図書館の事業費と候補地は

**問** 新図書館について、一般財源や補助金の有無、借金など財政計画の観点からも総事業費を把握する必要はあるが、どの位か伺いたい。また、よほど魅力的な図書館を建てない限り、市民は手間をかけて遠い図書館に足を運ばないと思う。候補地の選定において、なぜ第一に立地条件を据えなかったのか、上尾西口大駐車場と上平公園西側の比較検討の内容について伺いたい。

**答** 施設の概要は、基本設計により決まるため、現時点で事業費は報告できる状況でない。新図書館の候補地は、延べ床面積5000㎡程度の建設が可能で、100台程度の平置き駐車場が確保できる土地を前提に選定した。上尾西口大駐車場は、駅から近いが、市が所有している部分の面積は約2330㎡で、残りの約2050㎡については高額な土地の買収費用が想定される。また、面積の上でも建築制限により、前提条件を満たすことは難しい。一方、上平公園西側は、JR北上尾駅から徒歩約18分の距離にあり、JR上尾駅からバスが運行している。面積は約7000㎡で、建築計画が容易で土地の買収費用も比較的安価なことが想定される。これらを総合的に判断して、政策会議で決定した。

〜その他の質問〜  
・大規模学童解消と学校敷地内移転  
・西貝塚環境センター管理運営事業の委託について



公明党上尾市議団  
長沢 純

プレミアム商品券で消費喚起を

**問** 「プレミアム商品券は、地方創生の目的に沿った形で、市町村において、いろいろな工夫や企画をされることが重要である」と県議会で答弁があった。市は、夏頃にプレミアム商品券を発行することだが、さらに効果的に消費喚起する必要があると考える。今回の商品券を使い上尾市観光協会推奨土産品を購入した人への割引制度を提案するが、消費喚起を促すための呼び水の方策について、市の考えを伺いたい。

**答** 商品券事業をきっかけとして、商店街や業界団体などが主体となり、各店舗の持つ強みや創意工夫を凝らした販売促進事業を行い、売上げの増加や新たな顧客の獲得につながるように働きかけたいと考えている。また、市観光協会推奨土産品は「ふるさと名物」と位置付けられるものであり、地域外に対し、戦略的なPRを検討していく必要があると考えている。取り扱い事業所に対しては、商品券利用ができるよう登録を働きかけるとともに、ホームページやポータルサイトなどを通じてPRしていきたい。

〜その他の質問〜  
・活気ある温かな上尾づくりについて



新政クラブ  
新井 金作

大石南中学校入口の信号の存続を

**問** 上尾道路開通に伴い、大石南中学校入口の信号の撤去が検討される中、地元関係者や同中学校の保護者の方々が協力して、信号を

**答** 1万2717名もの署名については、過去5年間で例がなく、児童生徒の登下校の安全について高い関心を持っていただいたものと受け止めている。市としても、これだけの方々が当該交差点の信号機の必要性を感じている証であると認識しており、地元の意向を十分理解している。市は、埼玉県警に対し、信号機の点灯タイミングの調整や押しボタン信号機の変更などの検討と、地元の理解が得



大石南中学校入口の信号機

## 委員会の変更

平成 27 年 2 月 25 日、齊藤哲雄議員の辞職に伴い、小川明仁議員が都市整備消防常任委員長に、浦和二郎議員が同副委員長に選出されました。

また、箕輪登議員が議会改革特別委員に、新井金作議員が議会報編集委員になりました。



**問** 柏座地区には公園が少なく、癒やしのある公園を求める住民の声は多い。しかし、その土地は、見当たらない。そこで、柏座四丁目側から東今泉側までの鴨川の上をコンクリートで暗きよ(※)にし、川の上に大きな緑地公園を

### 鴨川を緑地公園に



新政クラブ  
大室 尚

られるよう丁寧な説明を求めている。また、地元の方々の思いを理解していただけるよう、道路管理者協議の中でもしっかりと説明していきたい。

〜その他の質問〜

- ・学童保育の現状と今後の対策
- ・市内商工業の発展と今後の見通し対応について

造ることを提案するが、市の見解を伺いたい。

**答** 鴨川の富士見橋上流から、ずむき橋までを暗きよにし、その上部を公園にすることにについては、鴨川を管理する埼玉県北本県土整備事務所によると、鴨川の整備は既に完了しており、河川を管理する上でも開きよが好ましいため、形態の変更は難しいとのことである。また、市としても、暗きよ化するには莫大な費用が必要となることや、新たな浸水被害の発生も考えられることから、現状の開きよの状態が好ましいと考えている。

※暗きよ：地下に埋設したり、ふたを掛けたりした河川や水路の事。ふたをしていない水路は「開きよ」という。

〜その他の質問〜

- ・消防救急について
- ・防災計画について

### ◆環境産業



富士見橋から見たずむき橋



上尾政策フォーラム  
町田 皇介

### 市民生活に直結する契約に責任を

**問** 西貝塚環境センターの運転管理業務について、市は、2月6日に、事後審査型の一般競争入札を執行し、契約を締結した。しかし、契約後の審査で、責任者などの実務経験証明が確認できないとして、3月11日に契約を解除し、3月20日に再入札を行うこととした。市は「皆さんの契約をしたと言われているが、このよ

うな事態に陥った本質的な原因を伺いたい。また、市長は、行政の執行責任者として、市民の生活に直結する同契約について、どの程度把握しているのか。来年度の体制が決まっている状況をどのように考えているか伺いたい。

**答** 事後審査型の一般競争入札は、多くの事業者が入札に参加できる一方、市が事前に入札の参加を制限できない制度である。今回の西貝塚環境センター運転管理業務の契約解除は、入札資格はあっても、技術者の配置について、要件を満たしていなかったことが原因と考えている。また、この契約については、起工起案、契約締結、契約解除の決裁を通じて承知している。3月16日現在、受注業者が決定していない状況は、本意ではないが、早急に焼却炉運転管理体制の構築を図りたい。

### ◆健康福祉



上尾政策フォーラム  
浦和 三郎

### アッピーパー元気体操参加で介護予防を

**問** アッピーパー元気体操は、転倒予

防・筋力アップを目的とした要支援・要介護認定を受けていない高齢者の地域介護予防活動支援である。会場での安全管理について、緊急搬送された事例とAED設置状況を伺いたい。なお、一部地域では参加希望の待機者がいるとのことだが、会場の増設とそれに伴うリーダーを増やす仕組みづくりについて伺いたい。また、アッピー元気体操により、参加者にどのような効果があったか伺いたい。

**答** 過去5年間に3件の緊急搬送があったが、いずれも体調不良によるものであった。AEDは、全66施設のうち、16施設に設置されており、設置のない50施設についても平成27年度に設置する予定である。なお、会場は、平成27年度に4カ所を増設し79会場となる予定である。1月末現在、369人のリーダーの登録があるが、年々確保が難しくなっており、今後は参加者の中からリーダーを育成していく取り組みも考えている。アッピー元気体操の成果として、参加者の96・7%、リーダーの99・6%の方に、運動機能の低下は認められないとの結果を得ている。

・**その他の質問**  
・選ばれる街づくり



アッピー元気体操の様子



日本共産党  
上尾市議会議員団  
秋山 もえ

**要支援1、2の人へ介護サービスの継続を**

**問** 国は、介護保険給付費の抑制のために要支援1、2の人を介護予防給付から外すことを決めた。要支援者が利用してきたデイサービスやホームヘルプは、これまで介護専門職が行ってきたが、国は、ボランティアなど非専門職による安上りのサービスに置き換えようとしている。自治体の事業に移行すると予算に上限が付けられ、自治体は給付費の抑制を求められる。要支援者には、専門職の支援が欠

かせないというのが事業所の声であり、現在の給付額を確保しない限り、今後、要支援者へのサービス提供ができなくなる。引き続き事業者がサービス提供できるように市は責任をもって予算を確保していく必要があるが、市の見解を伺いたい。

**答** 今回の介護保険制度の改正で、新しい介護予防・日常生活支援総合事業が施行される。内容は、要支援者の訪問介護および通所介護を、予防給付から市町村の地域支援事業へ移行することなどである。総合事業に移行した場合も、要支援者の希望するサービスが継続して提供できるよう努めていきたい。

・**その他の質問**  
・保育の充実と待機児童の解消を



公明党上尾市議員団  
前島 るり

**ポイント制を活用し、楽しくできる健康施策を**

**問** 市民が楽しみながら健康施策に参加できる方策として、健康診断を受診したり健康づくりのためのメニューに参加したりするとポイントが貯まる「健康マイレージ

制度」を提案してきたが、その取り組みについて伺いたい。また、医療費未使用の人へ還元できる施策や、若い世代や主婦のために簡単に申し込め、安い費用で検査が受けられるコンビニ健診の実施を提案するが、市の見解を伺いたい。

**答** 健康マイレージは、健康づくりに対する市民の意識向上を図る上で、有効な方策と認識しており、効果的な方法などを検討したい。また、保険診療のない人に還元できる事業については、今後、他市町村から情報収集を行いたい。コンビニ健診については、コンビニの持つ知名度や集客力に注目し、今後、産官協働による事業展開の可能性も期待できることから、先進事例を参考に調査研究したいと考えている。

・**その他の質問**  
・英語教育の今後と、異文化理解について  
・ゴミ回収の施策について

**行政視察の受け入れ**

2月16日 / 千葉県一宮町議会  
「耕作放棄地対策について」



日本共産党  
上尾市議会議員団  
平田 通子

原市・瓦葺の地域医療の充実を

**問** 東大宮総合病院が、7月に、さいたま市北区土呂町に移転する。上尾市民が患者の2割を占め、救急搬送は716件もあるとのことだが、移転先は土呂駅から歩いて15分かかり、バスは運行されてない。患者が引き続き利用できるよう、交通手段の確保が必要であると考え、見解を伺いたい。また、市外医療機関での特定健診の受診を可能にし、人間ドックの助成をすることで健診率を向上させ、市民の健康増進を図る必要があると考えるが、見解を伺いたい。

**答** 東大宮総合病院は、移転しても、上尾市民にとって重要な中核病院であるが、病院による駅からの外来患者の輸送は、企業経営上難しいとのことである。特定健診については、上尾市医師会との契約であり、市内の指定医療機関以外で市の特定健診を受診することは不可能である。しかし、人間ドックは、実施医療機関が少なく、自己負担額が大きいことから補助

制度の見直しを行い、平成27年度から市内の指定医療機関以外で受診した場合も、一定の項目を網羅していることを要件に補助を実施する予定である。

◆**その他の質問**◆

- ・公共施設のあり方について
- ・平和行政の充実を



新政クラブ  
星野 良行

防犯カメラの画像情報の管理を

**問** 平成26年6月議会の一般質問で、街頭防犯カメラの設置や映像の取り扱いなどについて、神奈川県大和市の要綱を参考に運用してほしいと要望した。川崎市の少年殺害事件が記憶に新しいところであるが、防犯カメラの映像が、犯人逮捕のきっかけになったと言われている。そこで、市の防犯カメラの設置状況、商店街の取り組み、および防犯カメラの画像情報の管理に関する規定について伺いたい。

**答** 防犯カメラは、JR上尾駅周辺に3台、上尾道路地下通路に8

台あり、交通防犯課で管理している。また、商店街の取り組みとして、協同組合上尾モンシェリーが13台、尾山台商栄会が7台の防犯カメラを設置している。市の管理する防犯カメラの画像情報の管理については、上尾市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱により、利用基準や捜索機関等の犯罪捜査への協力などを定めている。今後、町内会や自治会などでの設置が進むことも考えられることから、防犯カメラの情報管理については条例などによるルールづくりが必要である。

◆**その他の質問**◆

- ・国の経済対策に対する上尾市の取り組みについて



商店街に設置された防犯カメラ

誰もが利用しやすいぐるっとくんの編成を



公明党上尾市議員団  
道下 文男

**問** 地域公共交通システムについては、議会でも何度も質問し、さまざまな提案を行ってきた。上尾市地域公共交通活性化協議会では、市内循環バスぐるっとくんの10月の再編を組んでいるというが、本協議会の内容と、今後の方向性について伺いたい。

**答** 市は、平成26年3月に上尾市総合公共交通基本計画を策定した。本計画を策定した上尾市地域公共交通活性化協議会には、交通事業者、道路管理者、公安委員会、学識経験者のほか、区長会連合会、いきいきクラブ、公募による市民も委員として参画している。協議会では、市総合公共交通基本計画に基づき、平成26年度は、市内循環バスぐるっとくんの再編を中心に協議している。今後は、持続可能で、安心・安全な交通の基盤づくりを図り、活力に満ちた地域社会を実現するためには、市内公共交通全体の再編が重要な課題であることから、まちづくり施策とも

連携した地域公共交通網の形成に向けた協議を考えている。  
 〓その他の質問〓

- ・子どもの放課後の安全・安心について
- ・障がい福祉施策について

◆子育て教育



公明党上尾市議団  
 橋北 富雄

教育委員会制度改革の認識と連携は

**問** 教育は、政治をはじめ、あらゆる権力から距離を置くことが大原則である。今回の改革論議の発端は、大津市のいじめ事件であり、教育委員会では責任ある迅速な対応ができないとの声が出たことにより、中央教育審議会の答申で、教育行政の執行機関を自治体の首長に移すことが盛り込まれた。そこで、教育委員会制度に対する認識と教育委員会の連携強化について市の見解を伺いたい。

**答** 改正法のポイントとして、教育委員会の代表者である教育委員会委員長と教育委員会事務局の指揮総括者である教育長を統合し、新教育長を教育委員会の主宰者、

代表者、指揮総括者とした。それにより、市民に対して教育行政の責任者としての立場を明確化した。また、教育行政における首長の責任について、地方公共団体の長は議会の同意を得て教育長を任免するなど、その関わりが法的に明確になった。なお、この改正法は首長と教育委員会とが一体となり、よりよい教育行政を行うためのものであり、総合教育会議は教育行政をさらに推進させるための機会として捉えている。

◆消防防災



新政クラブ  
 渡辺 綱一

移転を視野に入れた原市分署の建て替えを

**問** 現在の原市分署は、前面の道路がカーブし、見通しが悪く、慢性的に渋滞しており、火災や救急出動の際に支障がある。スリッパした乗用車が庁舎に追突する事故も起きており、建て替えは、同じ場所ではなく、立地条件のよい場所での新築移転が望ましいと考えられる。また、現在の場所から移転する場合は、瓦葺地区への救急車の

到着が遅くならないことを地域住民は希望している。建て替えや移転について、市の見解を伺いたい。  
**答** 原市分署の前面の道路は、建設当時比べ、交通量の増加により慢性的に渋滞し、立地的に良い場所とは言いがたい。市としても、建て替えは、災害出動に支障のない安全な場所への移転も視野に入れ、検討を進めたいと考えている。また、原市分署も含め、消防署所の適正配置については、公平公正な市民サービスを提供する上で重視しなければならない問題である。移転により、瓦葺地区の方の利益にならないよう、地域住民の意見を踏まえ、用地選定を検討する必要があると認識している。



上尾市東消防署原市分署

〓その他の質問〓  
 ・調節池の周辺について  
 ・上尾伊奈斎場つつじ苑と瓦葺ふれあい広場について

清水義憲議員が辞職

3月定例会開会日の2月25日に、清水義憲議員（上尾政策フォーラム）から辞職願が提出され、市議会は同日付けでこれを許可しました。

斉藤哲雄議員が辞職

3月定例会開会日の2月25日に、斉藤哲雄議員（新政クラブ）から辞職願が提出され、市議会は同日付けでこれを許可しました。

秋山かほる議員が退職

4月3日に、秋山かほる議員（無党派）は、埼玉県議会議員選挙に立候補したため、市議会議員を退職となりました。

※これにより、市議会議員の現員数は27名になりました。



6月定例会日程(案)

- 6月 11日 開会、質疑、委員会付託
- 15日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 16日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 18日,19日,22日~24日 一般質問
- 26日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 H27.1.16~H27.4.15



▲首都圏外郭放水路での説明 (都市整備消防常任委員会)



▲総務常任委員会の様子

\*次回の6月定例会は、6月11日(木)に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、6月5日(金)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス  
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 星野 良行
- 副委員長 小川 明仁
- 委員 大室 尚
- 委員 前島 るり
- 委員 浦和 三郎
- 委員 鈴木 茂
- 委員 平田 通子
- 委員 新井 金作

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	1/22 3/4~5	・所管事務調査「公共施設マネジメント推進事業について」 ・3月定例会提出議案8件を審査
文教経済常任委員会	3/6	・3月定例会提出議案7件を審査 ・所管事務調査「新図書館について」
都市整備消防常任委員会	1/29 3/4	・行政視察(首都圏外郭放水路、荒川水循環センター) ・3月定例会提出議案13件を審査
健康福祉常任委員会	3/6・9	・3月定例会提出議案14件を審査
議会運営委員会	2/20 2/25 3/20	・議会運営について協議 ・議会運営について協議 ・議会運営について協議
議会報編集委員会	1/19 3/3 3/17	・「あげお議会だよりNo170」の内容について 他を協議 ・議会だよりの改善について協議 ・「あげお議会だよりNo171」の内容について協議

意見書 1 件  
を原案可決

3月定例会最終日の3月20日、議員提出議案として意見書6件を提出し、1件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆都市農業の振興策強化等を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

「あげお議会だより」の誌面を変更しました!

議会改革の一環として、市民の皆さまに分かりやすい誌面になるよう、今月号から、「提出議案とその結果」(8ページ)の中の採決状況を、会派別から各議員

別の掲載に変更しました。

また、誌面の見やすさを考え、内容を一部変更しました。

これからも議会報編集委員会では、より充実した「あげお議会だより」となるよう検討を重ねてまいります。

議会報編集委員長